社会福祉法人つどいの家　仙台つどいの家通信　隔月２５日発行

とんがらし通信

No.243

～主な内容～

- 施設長コラム
- すてーじ
- ナミコレ
- Close-up！
- 杜のみやこふれあいコンサート
- 麺組合
- 研修報告
- ほか

仙台つどいの家編集室
発行責任者　山口収
発行日　２０２０年１月２５日
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町３丁目12-16
Tel 022(293)3751　Fax 022(293)3752
E-mail sendai@tsudoinoie.or.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.tsudoinoie.or.jp

隔月連載　施設長コラム

労働者性とボランティア　の巻

先日運転しながら聴くともなしにラジオを聴いていると、『政府が働き方改革の一環として、高齢者雇用安定法の改正案を早ければ今年の通常国会に提出する方向で調整しています』という声が耳に飛び込んできました。いよいよ『７０歳定年時代』が間近に迫ってきた感じで、非常に複雑な思いがしました。

国が一億総活躍社会を実現するため『働き方改革』の推進に乗り出したのは、『労働力不足の解消』を目的としています。少子高齢化が当初の想定をはるかに上回るペースで進行していることに焦りを感じたからにほかなりません。現在の我が国の総人口は約１億２６１５万人。１年間に２８万人という人口減少は今後さらに加速を続け、１０年後には１億１６６０万人、２８年後（令和３０年）には１億人を割り込んでくる計算です。それに伴って１５歳～６４歳の生産年齢人口も減少します。現在７５１８万人いるとされている生産年齢人口が、わずか７年後には７０００万人を下回り、３０年後には５０００万人を下回ります。これらの課題を解消するため、多様な働き方を認め労働力を確保することを目的に、『働き方改革』が推進されてきたのです。

働き方改革の柱には『長時間労働の解消』や『非正規と正社員の格差是正』とともに、『高齢者の就労推進』が位置付けられています。これは高齢者の過半数が『７０歳を超えても働きたい』と思っているにもかかわらず、実際に働いている高齢者が２割程度に留まっているという調査結果から導き出されました。冒頭の７０歳定年制も『元気なうちは７０歳までは雇用を継続するように企業に努力義務を課す』というものです。これにより不足する労働力を補い、労働生産性を向上させようという理念は全く否定するものではありません。しかし、その裏には『年金の受給開始年齢のさらなる引き上げ』が見え隠れして、何ともまやかしに思えてしまうのです。

もうひとつ。『地域共生社会の実現』が叫ばれて久しいですが、これもまた働き方改革と同様に『ニッポン一億総活躍プラン』に盛り込まれた考え方です。疾病やしょうがいの有無に関わらず、誰もが安心して暮らし続ける社会の創造を基本理念として、住民一人ひとりの助け合いや課題解決を推進していこうという非常に耳に心地のよいものです。具体的には既存の医療・介護・障害福祉のサービスだけでは支えられないニーズに対して、ボランティアやＮＰＯ活動といったインフォーマルな住民同士の助け合いを強く期待した社会の実現を謳っています。現に厚生労働省では『地域が持つ様々な資源を生かしながら、豊かな住民生活を目指すプロセスにこそ価値がある』と説明しているのです。この考え方には全く賛同します。

私たちの関わる重いしょうがいのある方たちが地域でその人らしく暮らしていくことは、いわゆる『福祉のプロフェッショナル』との関係性だけでは実現できません。地域の人たちとの自然なふれあいや、温かい眼差し、心の交流が不可欠です。私たちはそんな交流を求めて『地域とともに』を合言葉に、日々過ごしてきました。そんな利用者さんたちとのかかわりの中で、地域の人たちは時にレスパイト事業の介護人として、時に送迎ボランティアとして、自然な形で利用者さんたちの地域での生活を支えてくれています。学生さん・主婦の方・定年後の第２の人生をボランティアにという方もいらっしゃいます。こうした多くの力は、『生産性』とか『労働力』といった言葉では括れない、プライスレスな価値を持つもののように感じるのです。

長きにわたり、有償ボランティアという形で重いしょうがいのある方とそのご家族を支えてきたレスパイト事業が、いま労働者性という名のもとに窮地に立たされています。地域共生社会とセットで語られてきた『我が事丸ごと』という理念（他人事を『我が事』に変えていくような働きかけを！地域の課題を『丸ごと』受け止められる場づくりを！）を地でいくようなこの事業が今、国が打ち出す二つの考え方の間で翻弄されているのです。　　（管理者　山口　収）

仙台つどいの家 実践報告会「すてーじ」開催しました！

１２月７日（土）にせんだいメディアテークスタジオシアターにて仙台つどいの家実践報告会「すてーじ」を開催しました。このイベントは仙台つどいの家の日頃の活動の取り組みを映像にまとめお伝えすることで「しょうがいのある方が主体的に生きること、そのために必要なことは何なのか」ということを参加者の方と一緒に考えていくイベントです。毎年平日の開催でしたが今年は念願の土曜開催ということもありたくさんのお客様に足をはこんでいただきました。

第一部では、NPO 法人だれもがともに小平ネットワーク理事長　藤内昌信さんにお越しいただき「地域での暮らしにこだわって～いまだ「覚悟」不十分な私の原点と想い～」というテーマで講演をいただきました。講演のなかで印象に残ったことは藤内さん自身が入所施設に入って体験してみるというお話です。自分で利用者さんの目線になって過ごしてみることで、毎日楽しく充実して過ごすことができているかということを今一度問い直すことができます。しょうがいがあっても地域で暮らしたい、施設ではなく一人暮らしをしたいといった要望に応えるために必要なものはなにかということを考えさせられました。私たちが当たり前にできていることを利用者の方にも味わってほしい、体験してほしいという気持ちを忘れずにこれからの支援に生かしていきたいと思いました。

第二部は実践発表「すてーじ」で、今年は「奥山陽介さん」「斎藤慎一さん」「品田貴文さん」の３名の映像をお送りしました。奥山陽介さんの映像では「陽介さんの新しい扉」というタイトルで、陽介さんの『好き』を様々なアプローチから探っていく姿勢を描いていました。斎藤慎一さんのすてーじでは、支援費制度以降なかなか実践することが難しかった「旅行」が実現するまでの過程を描いています。品田貴文さんの映像では「ちゃんと伝える」というタイトルで、以前よりも歩くことが難しくなり車いすになった現在、そしてこれからを描いていました。映像担当者は撮っている映像を何度も見直し、映像や文言の修正を遅くまで残って行っていました。完成した映像を見て、今年も作成者の思いのこもったすてーじになったのではないかと思います。また、今年のエンディングはいつもお世話になっている地域の方たちと一緒に『パプリカ』を踊った映像が流れ、そちらもおかげさまで大好評に終わりました。映像に協力くださったお店の皆さま本当にありがとうございました！こちらはつどいの家の HP でアップされていますのでぜひチェックしてみてください。

参加していただいたお客さんからのアンケートのなかに「感動した」「しょうがいをもっている方との向き合い方について考える機会になった」という意見がありました。今年もこのイベントを通して、仙台つどいの家で行っていることの意味や利用者さんへの支援や活動を少しでも伝えることができたのなら嬉しいです。次年度もすてーじのイベントに多くの人に来ていただけたらいいなと思います。　（記：吉田）

「もりのみやこのふれあいコンサート」に行ってきました♪

毎年、１２月３日～９日の〝障がい者週間〟に行なわれる「もりのみやこのふれあいコンサート」へ、１２月６日の午後から行ってきました。会場は イズミティ２１·大ホール、演奏は「仙台フィルハーモニー管弦楽団」でした。仙台つどいの家メンバーの座席は最前列で、目の前で楽団の迫力のあるクラシックの演奏を堪能することが出来ました。音が耳からだけではなく、身体まで響いてきて、身体も心も揺さぶられる演奏でした。今年は普通の座席の他に、耳が不自由な方用の座席【ボディソニック（体感音響システム)】を２名のメンバーが利用して鑑賞しました。音（演奏）に合わせてクッションが振動して、その振動を身体に感じて演奏を楽しみます。演奏が聴こえるヘッドホンをして、振動するクッションを座面と体の一部（手やお腹など）に当てて鑑賞していると、普段のコンサートではなかなか反応の薄い難聴のあるメンバーも、微かに聴こえる音とクッションの振動で演奏中は集中して聴き入っていました。耳に障がいがあり、今までコンサートを遠慮していた方はぜひオススメです！ 演奏終了後には、会場玄関ロビーに楽団の方々がお見送りに来てくれました。奥津欣也さんは楽団の皆さんとあいさつをして、後藤彩也佳さんは以前に県民ロビーコンサートでお会いした楽団の方とお話しをしてきました。仙台フィルハーモニー管弦楽団の皆さん、身体と心に響く、素晴らしいクラシックの演奏をありがとうございました。（記：佐藤和）

滝口奈美さんプレゼンツ第2弾　「ナミコレ」

前号のとんがらし通信で「奈美まつり」のご紹介をしましたが、その滝口奈美さんが今度はファッションショー冬コレクション（通称：ナミコレ）を開催しました。笑顔いっぱいの奈美さんはどんな洋服でも似合います。そんなおしゃれな奈美さんが、参加者を募集し６名のメンバーがファッションショーに出場することになりました。

いよいよ当日。観客の皆さんがランウェイの周りに集まってきました。幕の後ろでソワソワしながら手を踊らせている奈美さん。開会の挨拶のあとに、主催者の奈美さんが登場です。お家で考えてきてくれた洋服は、ひらひらエプロンのメイドスタイル！少し恥ずかしそうに歩く奈美さんをみんな拍手で迎えました。そして次々と参加者がランウェイを歩きます。色黒の肌にピンクのシャツが似合う今さん。ディズニープリンセスが大好きな美奈さんは青いロングドレスで。２０２０オリンピックイヤーを盛大にアピールしてくれた篤史さん。スラッとしたモデル体型に飾らないお気に入りスタイルの望さん。ふわふわワンピースを着て職員堀内と一緒に９０年代のゲレンデカップル風に登場した智子さん。観客席の真ん中で見守る奈美さんは、椅子の上でジャンプしたり体を前後させて気分は最高潮。全員が終わったところで、観客の皆さんにどのファッションが良かったか、投票してもらいました。ベストメンズ賞は篤史さん、ベストウーマン賞は美奈さん、そして主催者からの滝口賞は今さんが受賞しました。

今回もみんなで一緒に盛り上がった奈美さん企画のイベント。周りを巻き込んで笑顔にしてしまう奈美さんと、またまた次の企画を考えるのが楽しみです。　（記：安藤）

ガンダム展、行きまーした！！

あの有名なロボットアニメの金字塔「ガンダム展」を観に、石ノ森漫画館に行って来ました。今回は、ガンプラ（＝プラモデル）のパッケージデザインを手がけた方の展示会。入った瞬間から、そのデザイン、迫力に圧倒され思わず漏れる「かっけぇ…」の声。４０年近くの長い歴史、シリーズ。「やっぱりファーストが一番！！」「Ｖも捨てがたい！！」等々利用者さんだけでなく、職員も熱くなってしまいました。ガンダムにそこまで詳しくなくても、「シャア素敵☆」とその魅力の虜に。熱気そのままに、常設展を観てウルトラマンの良さを再発見。お土産を買い、大満足の外出でした♪（記：杏奈）

個展を開催しました。

11月に４日間、「すてっぷサロン」を借用して、「バンバル展」（菊地愛子さん個展）を開催しました。「あたりまえに目にする何気ない暮らしの風景を写真に残しました。」「頭の中に浮かんでくる様々な物を絵に描き残しました。」「やってみたいこと、やりたい思いを形に残しました。」そんな愛子さんの１つ１つの思いを、たくさんの方に見て、知って、感じてもらいたい。決して器用ではないけれど、１つ１つ思いを込めて作り上げました。写真から絵、ステンシルやレジン、プラバン作品、染物など興味のあるものを実際に自分で調べて、自分自身で作ったものや職員と共に作り上げたものを準備しました。来てくださった方々からのあたたかなメッセージに的確なアドバイスも頂けて、愛子さんの自信にもつながりました。また、頑張って作品を作りためて披露する場を設けていきたいと思います。　　（記：鈴木）

知ってる？

救命救急と四つの輪

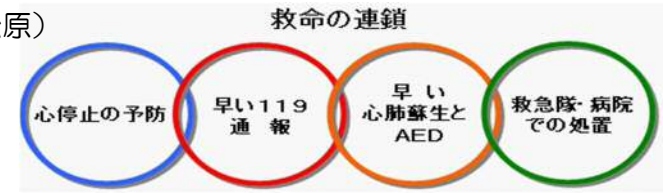
皆さんは救急救命の正しい対応法と AED の正しい使い方はご存じですか？

仙台つどいの家では職員を対象として、消防署の方に来ていただき救命処置方法の研修を受講しました。救命の手順や実際に人形を使って AED を使用する練習を行いましたが、私が受講して一番大事だと感じた「救命の連鎖」という言葉をご紹介いたします。

「救命の連鎖」には４つの輪があり、一つ目の輪は「日常生活で心停止に繋がることをしない」二つ目の輪は「倒れている人を見たらいち早く 119 番通報をすること」、三つめの輪は「心臓マッサージや AED を使った回復措置」、四つ目の輪は「救急隊・病院での措置」です。この四つの輪が繋がることにより、救命効果が高まり社会復帰に繋がります。

仙台つどいの家のある幸町ではお年寄りやお子さんを始め沢山の方が生活しています。そのような方に万が一の事があった時に助けられるように、この研修で覚えたことを自分のものにしたいと思いました。（記：松原）

救命の連鎖　４つの輪→



研修報告

【令和元年 11 月 8 日(金)リーの会施設長職員合同研修会】

昨年の 11 月、戦災復興記念館 5 階会議室で行われたリーの会研修会に参加しました。午前に視察研修報告、保護者の会報告。午後は社会福祉法人みなと舎より森下浩明さんをお招きして『重症心身障がい者の地域での暮らしを支える』をテーマにご講演頂きました。その後、宮城県保健福祉部、仙台市障害者支援課より担当者を迎えての懇談会も行われました。印象的だったのは森下さんの講演で「制度について、みなと舎について、我々の仕事とは何だろうか」主に 3 点についてお話を頂きました。みなと舎といえば全国的に知られた事業所であることに説明はいりませんが、やはりその総合施設長でいらっしゃる森下さんのお言葉はひとつひとつが芯に響くものでした。森下さんは福祉の仕事についてのお話の中でおっしゃいました。『「先人は樹を植えていく。後人は誰が植えた樹かも知らずにその樹の下で涼んでいく」…福祉の仕事はそれではいけない。ウェルビーイング（Well-being）。その人それぞれの幸せの形に合わせたオーダーメイドの幸せづくりをしなくちゃ。将来はもちろん大切だよ。でも大事なのは現在だよ現在。相手の目線で人生に寄り添う伴走者になりたいよね。』と。文章にすると伝わりづらいかもしれませんが、もし、この記事をここまで読んでくださった方がいたら、是非、みなと舎について調べてみてください。神奈川県横須賀市でそんな支援が現実になっています。（ホームページ http://minato-yuu.or.jp）

素晴らしいお話が聞けた有意義な時間でした。研修会実施にあたりご協力頂いた皆さま、お疲れ様でした。ありがとうございました。（記：堀内）

Close-Up！

もみじグループ　山中双美子さん

もみじグループの山中双美子さんについてご紹介します！双美子さんはお誕生日が２月２日なので《双美子》と名付けられたそうです。素敵な名前ですね(*^^*)

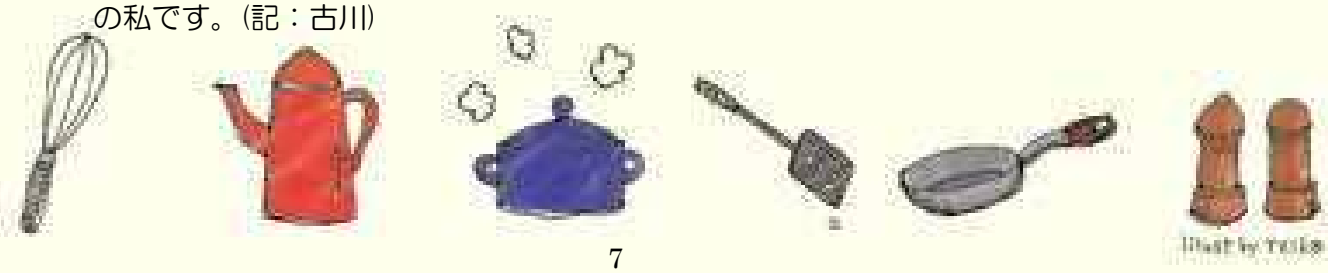
双美子さんの好きなものはコーヒーやお寿司、そして音楽。お寿司屋さんに行くとマグロやサーモン、海鮮丼もペロリと完食！とても満足そうな表情を見せてくれます。音楽も大好きで、キーボードを弾いたり、鈴を鳴らしたり、常に楽器を手に持って鳴らしています。とっても上手になんですよ！音楽の中でも特にクラシックが好きで、昨年クラシックコンサートに行った際には、目を大きく輝かせて聴き入っていました。

双美子さんと一緒にセッションしませんか。ぜひ、もみじグループに来た際は、楽器で楽しい活動を一緒にしましょう！！（記：佐藤亮）

職員コラム！　今回は・・・

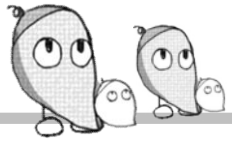
さんしょグループの笑顔が素敵な古川詩穂さん

昨年 5 月、令和への切り換えと同時に仙台つどいの家へ入職致しました、看護師の古川詩穂と申します。どうぞよろしくお願い致します。今回、職員コラムを、とお声掛けいただき、何を書こうかなあと悩んでいるところですが……自己紹介を兼ねて最近はまっている趣味についてお話したいと思います。元々料理が好きなのですが、最近は美味しいものを食べるとそれを何とか自宅で作れないか？と考え、休みの時に試行錯誤しながら作る、というのがマイブームです。私は涌谷町から去年の入職に合わせて仙台に引っ越してきたので、仙台は美味しいものに溢れていて、食べることが好きな私には幸せでしかないのですが、いち主婦として毎回外食はいろいろな問題が発生します。なので家で作ってみるか～という軽い気持ちから始めたのですが、意外と凝ってしまい、外食の方が安かったということもままあり…何事もほどほどが一番ですね。そんな凝り性の私です。(記：古川)



information

お知らせ



スケジュール schedule

2月

8日（土）めいぷる休日開館日
11日（火）建国記念日
12日（水）無線訓練
18日（火）チーフ会議
19日（水）施設懇談会
20日（木）職員会議
23日（日）天皇誕生日
24日（月）振替休日
25日（火）防災訓練
26日（水）安全委員会
27日（木）ケース会議（13:30降所）
健康相談

3月

2日（月）設備点検
4日（水）ケース会議（13:30降所）
11日（水）無線訓練
12日（木）施設懇談会
18日（水）チーフ会議
19日（木）職員会議
20日（金）春分の日
24日（火）安全委員会
31日（金）ケース会議（13:30降所）

缶回収　１１月の納品額

合計　1,762　円でした。

ご協力有難うございました。

ご協力ありがとうございます

ボランティアとして協力して頂いた皆様

（１１月１３日～１月１２日まで）

工藤さん、吉田さん、シルビアさん
京子さん、樋路さん

見学・来訪者など

鶴ヶ谷消防署、アロマDEすまいる、長岡屋十（4名）、１DAYインターンシップ（佐藤舞花さん、橋本瑚都さん）、インターンシップ見学（橘川怜奈さん）、生活介護つくし（大沼さん）、菅井先生（宮城教育大学）、北部アーチル（水間さん）、枡江小まち探検、コスモスクラブ、サラヤ、フラハウラカプアケア（5名）、共栄防災（2名）、明成高校（支倉先生）、明成高校ボラ体験（生徒3名、先生1名）、宮城野区社会福祉協議会、フォーレスト（大橋さん）、ヤクルト、今庄青果、鈴木米穀、マルイ、マルキ水産、サトー商会、エニシフルコンサルティング、ハート総合自動車、仙台大気堂（小野さん）、ダイナブック（伊藤さん）、ダスキン、ホシザキ東北、JCI（針金さん）、東北電力
法人職員：佐吉、佐藤里、飯田、渡部、加藤、檜山、今野ほか
(以上、ご芳方順不同)

編集後記

いやー、明ける明けるとは聞いていましたが、今年もやっぱり明けましたね！！そんなわけで、明けましておめでとうございます m(_ _)m　お正月といえば、初夢ですかね。みなさんはどんな初夢を見ましたか？？縁起のいい初夢といえば、一富士二鷹三茄子と言われているので、私も「富士山の頂上で鷹に茄子をもらう」みたいな初夢を見たかったのですが、実際に見た夢は、な、な、なんと「ＵＦＯに連れ去られて宇宙人にコケシ（？！）にされる」夢でした！！というわけで、私は今年も縁起悪そうですが、「とんがらし通信」は益々発展していきますので、皆様どうぞ御贔屓に！！（髙根）